



2024年5月10日

各 位

会社名 石原産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 大久保 浩
(コード番号 4028 東証プライム市場)
問合せ先 取締役財務本部長 川添 泰 伸
(TEL. 06-6444-1850)

無機化学事業の構造改革実施及び特別損失（固定資産の減損）の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、無機化学事業の構造改革を実施し、四日市工場にある塩素法酸化チタンプラントと硫酸法酸化チタンプラントのうち、硫酸法酸化チタンプラントを2027年3月末をもって停止することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1 実施の背景

当社は2021年度からスタートした長期経営計画「Vision 2030」において「独創、加速、グローバル。化学の力で暮らしを変える。」をスローガンに、社会において当社製品の提供価値を高めていくことに注力してまいりました。その一環として、安価な中国品の台頭などにより厳しい事業環境が続く無機化学事業の構造改革を検討してまいりました。その結果、塩素法酸化チタンについては国内唯一のメーカーとして引き続き供給責任を果たしつつ、将来、需要が拡大すると見込まれる電子部品材料を中心とした機能性材料を今後の無機化学事業の成長ドライバーと位置づけ、当社の生産構造を大きく転換することといたしました。

2 実施の概要

無機化学事業の収益基盤の強化のため、事業における製品ポートフォリオの見直しを実施し、無機化学事業の運営組織や販売、研究開発戦略を見直し、無機化学事業における全体最適を図ることにより、将来の需要拡大が見込まれる電子部品材料を中心とした機能性材料へのシフトを加速し、強固な収益基盤を構築します。なお、四日市工場における硫酸法酸化チタンの停止によるお客様への影響を最小限とすべく、2027年3月末まで生産を継続する予定であり、さらに他社とのアライアンスの可能性も検討してまいります。

3 特別損失の計上

本構造改革の実行により、2024年3月期において硫酸法酸化チタンに関連する固定資産の減損損失6,763百万円を特別損失に計上します。

4 今後の見通し

本日付で、「通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ」を公表しておりますのでご参照ください。

以上